

マリンクスで行く！新宮町歴史観光マップ

新宮中学校2年生の内藤佑介さん、中尾朱里さん、田中来実さんの3人が、職業体験で町広報誌の記事づくりに挑戦しました。実際に写真を撮ったり、インタビューをして記事を書いたりして、記者として頑張った2日間の成果をご覧ください。

START！

①新宮町役場



コミュニティバス「マリンクス」
山らいす線に乗って出発！



取材ノートとカメラを持って、いざ出発！



②人丸神社



マリンクス「人丸」バス停から徒歩約10分



人丸神社は子育ての神様として信仰されています。みなさんは人丸姫をご存じですか。人丸姫は平景清の娘で人丸神社に祭られています。平景清は平家が滅んだ後も源頼朝を狙っていたことから捕まってしまい、日向（宮崎県）へ流されました。人丸姫は景清を慕っていて京の都から九州へと行き、長旅の疲れからこの地で病により亡くなりました。

③夜泣き観音



マリンクス「千田」バス停から徒歩約2分

永禄11年（1568年）立花山城主立花鑑載が戸次鑑連（のちの道雪）から攻められ落城しました。鑑載の妻と子どもが城を脱出し、この近くの川の橋の下に隠れましたが子どもが泣きやまず「もはやこれまで」と観音経を唱えると、泣き止むいた子どもが、いつの間にかすやすやと眠り始めました。「まさしく観音様のおかげ」と喜び、船で無事長門（山口県）へ逃げることができたといわれています。



父を慕う人丸姫の心情から、子どもの無事成長の祈願参拝の場となっています。

▲田中記者

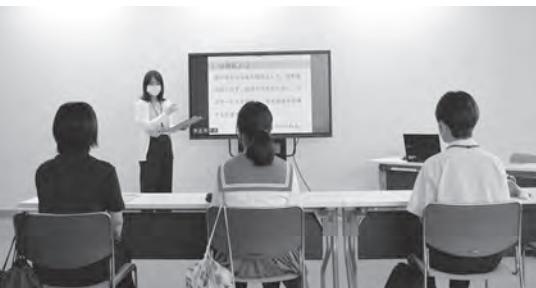
知られざる第2の説！？

子どもが泣きやまず見つかってしまい、捕まってしまったという説もあります。「この子だけは助けてください」という母の願いもむなしく、母子もろとも槍で突き殺されました。

村人がこのような母子の姿を伝え聞いて観音様として祭ったのが、この「夜泣き観音」だといわれています。



▲中尾記者



▲まずは総務課職員から役場の仕事について学びました

「的野」の由来って？

神功皇后の九州西下のとき、この地で弓術や馬術の訓練が行われ、「弓の標的を置いた場所」という意味で「的野」と名付けられました。



▲ジロちゃん記者
(広報担当)

GOAL !

⑤熊野神社



マリンクス「的野公民館前」バス停から徒歩約2分



的野の産土神で、古くは大社と称し御神田を持ち、四季の祭典が営まれていました。その後、立花城の攻防戦の戦火で焼失し、天正15年(1587年)に藩主小早川隆景により再建されたものが現在に伝えられています。

こみんかみかんでひとやすみ♪

こみんかみかんって？



明治33年に建築された古民家をリノベーションし、地域の人や登山者が休憩・交流できる施設になりました。地域で採れた新鮮な食材やスイーツが味わえるほか、ワークショップや文化体験も開催しています。

【住所】新宮町大字立花口1324

※マリンクス立花口バス停から徒歩約10分

職業体験(記者体験)を終えて

- ★毎月当たり前に読んでいる広報誌の裏には、職員のみなさんの努力や技術が詰まっていることが分かりました。(内藤)
- ★何気なく読んでいる広報誌にもたくさんの工夫があると分かり、努力や工夫を重ねる姿を自分も見習っていこうと思いました。(中尾)
- ★友だちや地域の人と話すときは、「伝える」ではなく「伝わる」よう意識して実践していきたいです。(田中)

④川上神社



マリンクス「立花小学校前」バス停から徒歩約5分



川上神社は各地域にいる産土神を祭る神社のひとつで、原上・三代地区の神様を祭っています。香椎宮(福岡市東区)の末社で、つながりがとても深く、昔は壮大な神殿があったといわれています。境内では、町指定文化財にもなっている樹齢400年程度のクスノキを見ることができます。このクスノキは幹回り7.37メートル、樹高21メートルある一号木、幹回り8.71メートル、樹高21メートルある二号木があります。



▲内藤記者

一号木の大きさは、幹回りはサッカーゴールの横幅、樹高はマンションの7階相当あります。

こみんかみかんの中にあるカフェ 「たちばな base 367」でスイーツを食べました！



自家製ドリンク

- ・あまおうスムージー
- ・みかんスムージー

各450円

大人気メニューのひとつ！ほどよい酸味と甘さに、いちごの粒々が良いアクセント！！あまおうの魅力がふんだんに感じられる一杯です。

